

# 三原市の家計簿 財政状況をお知らせします

市の財政がどのように運営され、税金がどのように使われているのでしょうか。平成18年度の決算と、平成19年度予算の9月末現在の執行状況をお知らせします。

問い合わせ先 財政課 (☎0848⑦6027 ㊟0848④7101)

## 言葉のツボ



- 地方交付税…一定水準の行政運営を確保するために、国から交付されるお金。
- 市債…大きな事業を行うために借り入れたお金。
- 諸収入…市が貸し付けている返済金や税の延滞金など。
- 地方譲与税…国に納めた税金が、一定の基準で市に譲与されるお金。
- 財産収入…市の財産を貸し付けたり、売ったりして得たお金。
- 公債費…借入金(市債)の元金と利子の返済金。
- 投資的経費…施設、道路などの建設や災害復旧などの経費。
- 補助費等…各種団体などに対する負担金や補助金。
- 扶助費…生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などにに基づき、地方公共団体が支給する経費。

## 平成19年度上半期 予算執行状況

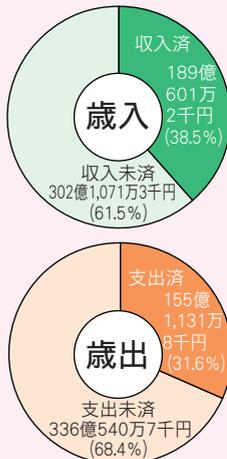
当初予算額は449億6,200万円でしたが、前年度からの繰り越した事業および予算の補正により、9月末現在の予算総額は49億1,672万5千円です。上半期の予算執行状況は、収入済額189億601万2千円(予算額の38.5%)、支出済額155億1,131万8千円(予算額の31.6%)です。

### 一般会計

一般会計  
一 般 会 計  
(平成19年9月30日現在)  
予算総額  
49億1,672万5千円

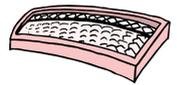
### 特別会計(15会計)

当初予算額は385億2,225万円でしたが、前年度からの繰り越した事業および予算の補正により、9月末現在の予算総額は40億5,137万9千円です。収入済額133億4,932万2千円(予算額の33.3%)、支出済額154億3,614万4千円(予算額の38.5%)です。



## 歳入決算の状況 総額438億2,682万円

市 税	148億3,075万2千円 (33.8%)
地方交付税	89億6,495万5千円 (20.5%)
市 債	51億1,260万円 (11.7%)
国庫支出金	40億6,377万3千円 (9.3%)
県 支 出 金	19億3,070万3千円 (4.4%)
諸 収 入	18億47万9千円 (4.1%)
地方譲与税	14億2,318万6千円 (3.3%)
分担金・負担金	11億2,881万9千円 (2.6%)
財 産 収 入	7億6,681万4千円 (1.7%)
使用料・手数料	7億895万7千円 (1.6%)
そ の 他	30億9,578万2千円 (7.0%)



## 歳出決算の状況 総額427億3,117万6千円

### ★目的別歳出

民 生 費	108億405万9千円 (25.3%)
公 債 費	73億6,763万4千円 (17.2%)
総 務 費	67億2,327万4千円 (15.7%)
土 木 費	63億224万2千円 (14.8%)
教 育 費	36億9,959万7千円 (8.7%)
衛 生 費	23億2,939万4千円 (5.5%)
消 防 費	17億68万2千円 (4.0%)
農林水産業費	14億1,557万2千円 (3.3%)
商 工 費	13億4,522万4千円 (3.1%)
そ の 他	10億4,349万8千円 (2.4%)

### ★性質別歳出

人 件 費	91億9,875万9千円 (21.5%)
投資的経費	81億4,582万8千円 (19.1%)
公 債 費	73億6,757万3千円 (17.3%)
物 件 費	47億7,483万円 (11.2%)
扶 助 費	45億3,871万6千円 (10.6%)
補 助 費 等	26億976万3千円 (6.1%)
投資・出資・貸付金	13億1,353万6千円 (3.1%)
積 立 金	1,439万8千円 (0.0%)
そ の 他	47億6,777万3千円 (11.1%)

# これが三原市のバランズシート資産です

財産の中身と財政の状況をわかりやすくお知らせするために、特別会計・公営企業会計を含めた市全体のバランズシート(貸借対照表)を作成しました。

バランズシートとは、一定の時期において、保有する資産や負債などがどれくらいあるのかを示したものです。

## 平成18年度のバランズシートの状況

昭和44年度から平成18年度までに形成された「資産」は2,573億円、将来返済すべき「負債」は1,099億円で、その資産から負債を差し引いた「正味資産」は1,474億円です。

バランズシート【平成19年3月31日現在】 (単位:百万円)

【資産の部】	普通会計	特別会計	公営企業会計			合計
			水道	交通	病院	
1.有形固定資産	175,422	35,690	25,822	23	313	237,270
(1) 総務費	12,772					12,772
(2) 民生費	7,656					7,656
(3) 衛生費	7,708					7,708
(4) 労働費	19					19
(5) 農林水産業費	18,329					18,329
(6) 商工費	1,238					1,238
(7) 土木費	82,771					82,771
(8) 消防費	1,498					1,498
(9) 教育費	39,583					39,583
(10) その他	3,848	35,690	25,822	23	313	65,696
2.投資等	8,877	746	316			9,939
(1) 投資及び出資金	1,486					1,486
(2) 貸付費	456					456
(3) 基金	6,935	746				7,681
(4) その他			316			316
3.流動資産	6,119	1,250	2,379	159	95	10,002
(1) 現金・預金	5,046	331	1,954	157	28	7,516
(2) 未収金	1,073	919	327	2	64	2,385
(3) その他			98		3	101
4.繰延勘定			52	42		94
資産合計	190,418	37,686	28,569	224	408	257,305
【負債の部】						
1.固定負債	67,458	20,804	14,239		1	102,502
(1) 地方債	60,786	20,605	14,239		1	95,631
(2) 退職給付引当金	6,672	199				6,871
2.流動負債	5,530	927	860	15	75	7,407
(1) 地方債翌年度償還予定額	5,530	782	398		1	6,711
(2) 翌年度繰上充用金		145				145
(3) その他			462	15	74	551
負債合計	72,988	21,731	15,099	15	76	109,909
【正味資産の部】						
正味資産合計	117,430	15,955	13,470	209	332	147,396
負債・正味資産合計	190,418	37,686	28,569	224	408	257,305

○市民1人当たりバランズシート (単位:千円)

【資産の部】	普通会計	特別会計	公営企業会計			合計
			水道	交通	病院	
1.有形固定資産	1,691	344	249		3	2,287
2.投資等	86	7	3			96
3.流動資産	59	12	23	2	1	97
4.繰延勘定						
資産合計	1,836	363	275	2	4	2,480
【負債の部】						
1.固定負債	651	200	137			988
2.流動負債	53	9	8		1	71
負債合計	704	209	145		1	1,059
【正味資産の部】						
正味資産合計	1,132	154	130	2	3	1,421
負債・正味資産合計	1,836	363	275	2	4	2,480

※住民基本台帳登録人口 103,741 人 (平成19年3月31日現在)

## 平成18年度 決算

### 一般会計

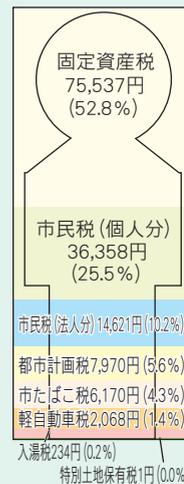
歳入438億2,682万円、歳出427億3,117万6千円で、差し引き10億9,564万4千円。翌年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた実質収支は、6億632万円の黒字決算です。

### 特別会計(15会計)

歳入366億6,873万2千円、歳出362億5,177万1千円で、差し引き4億1,696万1千円。翌年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた実質収支は、3億6,122万4千円の黒字決算です。

市民1人当たり  
平均税負担額  
142,959円

市税  
148億3,075万2千円



上半期の経営状況は、収入13

### 水道会計

上半期の経営状況は、収入2億5,728万7千円、支出2億4,629万6千円で、差し引き1,099万1千円の黒字です。収入には、一般会計からの補助金4,477万5千円が含まれています。

### 病院会計

上半期の経営状況は、収入11億6,055万5千円で、差し引き1億9,043万6千円の黒字です。

収入には、一般会計からの補助金3,609万4千円が含まれています。

### 交通会計

上半期の経営状況は、収入6,134万9千円、支出1億6,200万6千円で、差し引き5,485万7千円の赤字です。

## 行政コスト計算書

### 普通会計(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(単位:百万円)

【費用の部】		【収入の部】	
1. 人にかかるコスト	9,013	1. 使用料・手数料等	2,980
人件費	7,988	2. 国庫(県)支出金	5,194
退職給与引当金繰入等	1,025	3. 一般財源	27,228
		<b>収入合計</b>	<b>35,402</b>
2. 物にかかるコスト	12,941		
物件費	4,155		
維持補修費	568		
減価償却費	8,218		
3. 移転支出にかかるコスト	13,073		
扶助費	5,286		
補助費等	2,665		
繰入金	4,136		
普通建設事業費 (他団体への補助金等)	986		
4. その他にかかるコスト	1,435		
災害復旧事業費	58		
公債費(利子分のみ)	1,334		
不納欠損額	43		
<b>費用合計</b>	<b>36,462</b>		
<b>差額(収入-費用)</b>	<b>△1,060</b>		



#### 用語の説明

- 使用料・手数料等  
バランスシート上で計上されない分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金など
- 国庫(県)支出金  
資産形成に資するもの以外の支出金
- 一般財源  
市税、地方交付税など

### ○市民1人当たり行政コスト計算書

(単位:千円)

【費用の部】		【収入の部】	
1. 人にかかるコスト	87	1. 使用料・手数料等	29
2. 物にかかるコスト	124	2. 国庫(県)支出金	50
3. 移転支出にかかるコスト	126	3. 一般財源	262
4. その他にかかるコスト	14		
<b>費用合計</b>	<b>351</b>	<b>収入合計</b>	<b>341</b>
<b>差額(収入-費用)</b>	<b>△10</b>		

※住民基本台帳登録人口 103,741人(平成19年3月31日現在)

### ○目的別コスト

目的別	総額 (百万円)	1人当たり (千円)
議会費	436	4
総務費	4,024	39
民生費	11,217	108
衛生費	3,061	30
労働費	199	2
農林水産業費	2,891	28
商工費	806	8
土木費	6,721	65
消防費	1,805	17
教育費	3,771	36
災害復旧費	58	
公債費	1,333	13
諸支出金	97	1
不納欠損額	43	
<b>合計</b>	<b>36,462</b>	<b>351</b>

#### 用語の説明

- 人にかかるコスト  
人件費など行政サービスを担う職員に要するもの  
・退職給与引当金繰入等  
1年間に職員が勤続したことにより発生する退職手当の増減分
- 物にかかるコスト  
物件費(施設の運営管理など)など市が最終的に消費するもの、および減価償却費
- 移転支出にかかるコスト  
生活保護費などの扶助費や、各種団体に対する補助金や負担金などの補助費等など、他の主体に移転して効果が出てくるもの
- その他にかかるコスト  
上記のコストに当てはまらないもの  
・公債費  
地方債(借入金)の利子および一時借入金の利子



#### 問い合わせ先

財政課(☎0848⑦6027FAX0848④7101)

地方公共団体の活動は、従来の世代も利用できる資産の形成だけでなく、人的サービスや給付サービスなど、資産形成に繋がらない当該年度の行政サービスも、大きな比重を占めています。  
そこで、市民の皆さんに、さまざまなサービスを提供するために、どれだけコスト(経費)がかかったかをわかりやすくお知らせします。  
なお、コストには現金の支

#### 18年度コスト計算書の状況

市の行政コストは、総額

出だけでなく、減価償却費や退職給与引当金などに、現在の歳入歳出決算額には表れない費用も含まれています。  
※バランスシート、コスト計算書は、総務省の基準による地方財政状況調査表などに基き作成しています。

365億円で、これを市民1人当たりになると、35万1千円のコストをかけて、行政サービスを提供したことになります。  
行政コストを性質別にみると、扶助費、補助費等などの「移転支出にかかるコスト」が、全体の36%(131億円)を占めており、次いで物件費、減価償却費などの、「物にかかるコスト」が35%(129億円)、人件費などの「人にかか

るコスト」が、25%(90億円)となっています。  
目的別に見ますと、民生費が31%(112億円)、土木費が18%(67億円)、教育費が10%(38億円)などとなっています。  
収入項目では、使用料・手数料等が30億円、国庫(県)支出金が52億円、市税などの一般財源が272億円で、収入合計は354億円となっています。